

# 防災教育課だより

静岡県立吉田特別支援学校  
令和5年度 第4号  
1月 9日発行

## 【全国瞬時警報システム（Jアラート）対応訓練】

11月15日（水）に全国瞬時警報システム（Jアラート訓練）対応の避難訓練を実施しました。吉田町の情報伝達に合わせて、本校では児童生徒、教職員を対象に避難行動の確認を行いました。児童生徒には警報が鳴ることを事前に知らせた上での訓練でしたが、落ち着いて放送の指示に従い、スムーズに避難することができました。

全国瞬時警報システム（Jアラート）は、震災や豪雨による洪水・土砂・竜巻・火山噴火などの災害に関する情報や弾道ミサイルやテロ攻撃等による国民保護情報など、国民に被害が及ぶ可能性のある危険が発生した際に瞬時に伝達させる重要なシステムです。慣れによる「自分には関係ない」という思い込みから警報が鳴っても危険に備えた行動を取らずに過ごしてしまうこともあるかと思います。今回の訓練を通していざという時に自分の身を守ることの重要性を改めて考える機会になったと思います。



## 【ジュニア防災士（高2）】（11/30）

高等部2年生が「ふじのくにジュニア防災士」の学習をしました。この制度は将来にわたり、地域防災力を向上させるため、次世代の防災リーダーを育成することを目的としています。ふじのくにジュニア防災士とは、「自分の命を守ることができる人」「家庭の防災リーダーとなる人」「地域の防災リーダーとして期待される人」を指し、高等部2年生の生徒も自分の命を守り、家庭や地域で防災リーダーとなることを目指して学習に取り組みました。

学習では、家庭の家具固定や配置、備蓄状況、避難場所などを調査し、課題や予想を持って、静岡県地震防災センターに行きました。防災センターでは、地震の揺れを体験したり、南海トラフ地震の被害や津波の速さ、家具を固定することの大切さを学んだりしました。学校でも、防災学習の日には避難所設営などで全校生徒のために貢献することができました。発災時には、ジュニア防災士で学習したことを学校や家庭、地域のために役立てて、活躍してほしいと思います。



# 【防災学習の日】

12月1日（金）は「防災学習の日」、巨大地震発生時の対応や避難生活について体験学習を行いました。一日を通し災害時の対応について考える機会となりました。

各学部の防災学習では、地震発生後の学校での過ごし方を想定して仮設トイレや寝袋など避難生活で使うものを中心に体験をしました。また昼食時には、非常食を体験し、適量か、食べやすいものであるかなど確かめる機会となりました。

## 各学部での防災学習の様子

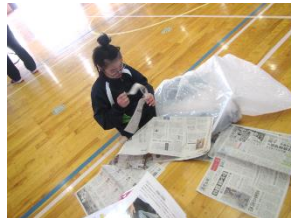
### 小学部の取り組み

小学部は、被災した際の避難所生活を中心に体験しました。段ボールのパーテーションの中や仮設トイレを体験して実際の地震が起きた際のイメージを持つことができました。また寝袋を体験し、寝ることができるのかも確かめました。



### 中学部の取り組み

中学部は、避難所に見立てた体育館にて、簡易トイレ、段ボールベッドを組み立てたり、防災グッズを作ったりしました。説明書を見ながら作るのは難しかったですが、生徒は完成させたい一心で、試行錯誤しながら、進んで取り組むことができました。



### 高等部の取り組み

高等部は、実際に避難生活をするときに必要な準備を体験しました。1年生は段ボールベッドと段ボールパーテーションの組み立て、2年生は仮設トイレの設営、3年生は炊き出し設営をしました。非常食の準備や生活体験などを行った生徒もいます。実際に準備したり体験したりすることで災害時の生活や役割を意識することができました。



### 肢体・訪問部の取り組み

肢体部は教師と一緒に安全に避難した後、学部ごと寝袋体験、段ボールパーテーション、段ボールベッド、非常食体験などに取り組みました。段ボールの上で寝転んだり座ったり、寝袋に入って静かに過ごしたり、普段と違う雰囲気の中で防災体験ができました。

